

令和元事業年度

決 算 報 告 書

自：平成31年4月1日

至：令和2年3月31日

国立大学法人小樽商科大学

令和元年度 決算報告書

国立大学法人小樽商科大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,355	1,355	0	
施設整備費補助金	310	242	△67	(注1)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	29	56	27	(注2)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	15	15	-	
自己収入	1,401	1,354	△45	
授業料、入学金及び検定料収入	1,362	1,319	△42	(注3)
附属病院収入	-	-	-	
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	38	35	△2	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	139	230	92	(注5)
引当金取崩	-	6	6	(注6)
長期借入金収入	-	-	-	
貸付金回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	4	4	0	
出資金	-	-	-	
計	3,253	3,266	13	
支出				
業務費	2,760	2,833	73	
教育研究経費	2,760	2,833	73	(注7)
診療経費	-	-	-	
施設整備費	325	257	△67	(注8)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	29	56	27	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	139	195	57	(注10)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	-	-	-	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	3,253	3,343	90	
収入-支出	-	△77	△77	

○予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、一部事業が翌年度に繰越となったため、予算額に比して決算額が67百万円少額となっております。
- (注2) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった資金の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が27百万円多額となっております。
- (注3) 授業料、入学金及び検定料収入については、授業料収入及び入学金収入が減少したため、予算額に比して決算額が42百万円少額となっております。
- (注4) 雑収入については、主に寄宿料収入が減少したため、予算額に比して決算額が2百万円少額となっております。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として予算段階では予定していなかった寄附金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が92百万円多額となっております。
- (注6) 引当金取崩については、引当金による賞与及び退職金の支払いに伴い経費相当分を取り崩したことにより、予算額に比して決算額が6百万円多額となっております。
- (注7) 業務費については、主として前年度以前から繰越していた退職手当を支出したため、予算額に比して決算額が73百万円多額となっております。
- (注8) 施設整備費については、(注1)に示した理由により、予算額に比して決算額が67百万円少額となっております。
- (注9) 補助金等については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が27百万円多額となっております。
- (注10) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注5)に示した理由により、予算額に比して決算額が57百万円多額となっております。